

# アジアから世界をリードする 「Analytical Sciences」へ



安川 智之

日本分析化学会が発行する国際分析化学英文誌である Analytical Sciences 誌は、1985年に発刊され、今年35年目にあたります。現在、Analytical Sciences 誌では、2016年度から5年間の科学研究費助成事業（国際情報発信強化）のご支援の下、世界をリードしている米国化学会および英国王立化学会の国際分析化学誌を追随するアジア随一の国際分析化学誌としての確固たる地位を確立すべく数多くの取り組みを行っています。これらの取り組みについて、この場をお借りして紹介させていただきます。

まず、国際的 visibility の向上を目指し、情報発信の強化に取り組んでいます。毎年、特集号のコンテンツを当該分野の雑誌の著者5000名以上にメール配信しています。さらに、本誌掲載論文に引用された論文著者に対して引用を通知するメールを論文の内容の要旨および関連論文とともに送信し、論文の高い価値を周知することにより本誌プレゼンスのアピールを行っています。2018年11月からFacebookを利用して本誌34巻からの掲載情報、Hot Articles, Most Cited Paper Awards, Call for papers等の記事の掲載を開始しています。ぜひ、これを機にフォローいただくと幸いです。また、国内外の学会等におけるプロモーション活動にも力を入れています。分析化学会年会をはじめ、アジアを中心とした国際会議においてブースを出展し、ポスター、チラシ、ノベルティグッズ、クリアファイル等の配布とともに、アンケートの実施によるプレゼンスの強化を狙ったプロモーション活動を行っています。今年度も複数の学会においてブースの出展を計画しており、当該学会にご参加の皆様には、お立ち寄りいただくとともに諸国の研究者への本誌のアピールにご協力いただければと願っています。

ジャーナル内容の基盤強化にも取り組んでいます。魅力のある特集号の増刊と著名研究者による総説の増強を行っています。今後も、既製の分析化学分野だけでなく、新興分野や学際領域のホットな内容をテーマに国際的に著名な研究者（特にアジア）による特集号や総説の増強を予定しています。さらに、本誌では、2017年から毎月 Highlights（ミニレビュー）をカバーページに掲載しています。また、従来の Most Cited Paper Award に加え、毎月の Hot Articles の中から年間の Best Paper Award を創設（2017年より）し、著者に賞状をお送りしHP上で表彰しています。これが、秀逸論文投稿の引き金となり、研究者に注目されることを期待しています。著者の利便性とサービスの向上と論文の情報発信力の強化のために、希望に応じて受理された論文を数日後に早期公開するシステムの採用による早期 DOI の取得と早期公開を可能にしています。さらに、編集および出版体制の国際化を目的とし、海外編集委員の増員を行っています。現在、アジアを中心に14名の著名な分析化学関連の研究者に海外編集委員をご担当いただいています。編集業務の担当とともに、各国における本誌の認知度の向上に貢献していただいています。

ここ数年取り組んできたこれらの活動は、徐々に浸透、深化し、投稿数や引用数等の向上などの成果として具体的に表れています。多くの分析化学会の会員の皆様に、本誌の取り組みを知っていただき、全世界に通用するアジアの Analytical Sciences を目指して活動を続けていきます。皆様からのご投稿をお待ちしております。

Tomoyuki YASUKAWA, 兵庫県立大学大学院物質理学研究科,  
「Analytical Sciences」副編集委員長